

# 農 研 速 報

平成 30 年 12 月 26 日発行  
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室  
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974  
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

## 大豆の生育概況(龍ヶ崎市, 最終版)

地 域 名	生育(作柄・品質)概況
茨 城 県 (龍ヶ崎市)	<p>龍ヶ崎市における平成 30 年産大豆の気象, 生育経過, 成熟期の生育および収量, 品質の平年との比較は以下のとおりである。</p> <p>1) 気象(6 月第 4 半旬～10 月第 6 半旬) 日平均気温は, 平年より 0.9℃高く(図 1), 降水量は, 平年比 85%とやや少なく(図 2), 日照時間は, 平年比 115%とやや長かった(図 3)。特に, 7 月 28 日に襲来した台風 12 号による倒伏や, 開花期頃の高温と降雨不足の影響による莢数と莢重の低下が認められた。</p> <p>2) 生育経過 <u>タチナガハ</u>: 出芽期は 6 月 25 日と平年並, 開花期は 7 月 30 日と 1 日早かった(表 2)。地上部の生育は, 茎が平年より太く, 地上部生体重は平年並であったが, 一株莢数と一株莢重は, 平年を下回った(9 月 25 日調査時点 表 1)。 <u>里のほほえみ</u>: 出芽期は 6 月 25 日と平年並, 開花期は 7 月 30 日と 1 日早かった(表 2)。地上部の生育は, 茎が平年より太く, 地上部生体重は平年よりかなり重かった。一株莢数と一株莢重は, 平年並であった(9 月 25 日調査時点 表 1)。 <u>納豆小粒</u>: 出芽期は 6 月 24 日と平年並, 開花期は 8 月 6 日と 2 日早かった(表 2)。地上部の生育は, 茎が平年より太く, 地上部生体重は平年より重かった。一株莢数と一株莢重は平年を上回った(9 月 25 日調査時点 表 1)</p> <p>3) 成熟期の生育および収量, 品質 <u>タチナガハ</u>: 成熟期は 2 日早く, 倒伏と青立ちの発生程度は平年より大きかった。主茎長と主茎節数は平年並, 茎の太さはやや太かったが, 分枝数がかなり少なかったため, 全重は軽かった。稔実莢数は少なく, 百粒重はやや軽かったため, 子実重は平年比 65%とかなり軽かった。外観品質は平年より優れた(表 1)。 <u>里のほほえみ</u>: 成熟期は平年並であった。倒伏程度は平年より大きかったが, 青立ちは発生しなかった。主茎長は長く, 主茎節数はやや多く, 茎の太さはかなり太かったが, 分枝数がかなり少なかったため, 全重はやや軽かった。稔実莢数はやや多かったが, 百粒重が軽かったため, 子実重は平年比 89%とやや軽かった。外観品質は平年より優れた(表 1)。 <u>納豆小粒</u>: 成熟期は 1 日早かった。倒伏程度は平年より大きかったが, 青立ちは発生しなかった。主茎長と主茎節数は平年並, 茎の太さは太かったが, 分枝数がかなり少なかったため, 全重はやや軽かった。稔実莢数はやや多かったが, 百粒重がやや軽かったため, 子実重は平年比 87%とやや軽かった。外観品質は平年並であった(表 1)。</p>

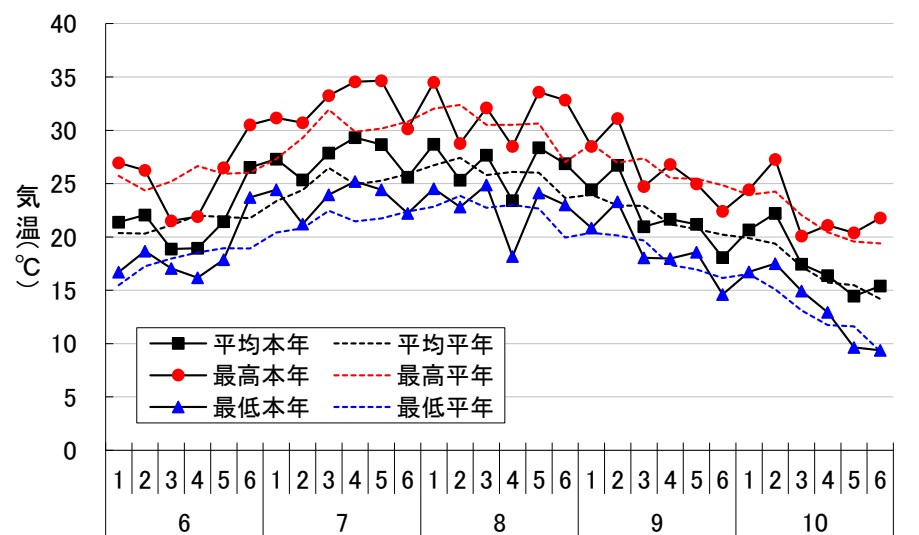


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

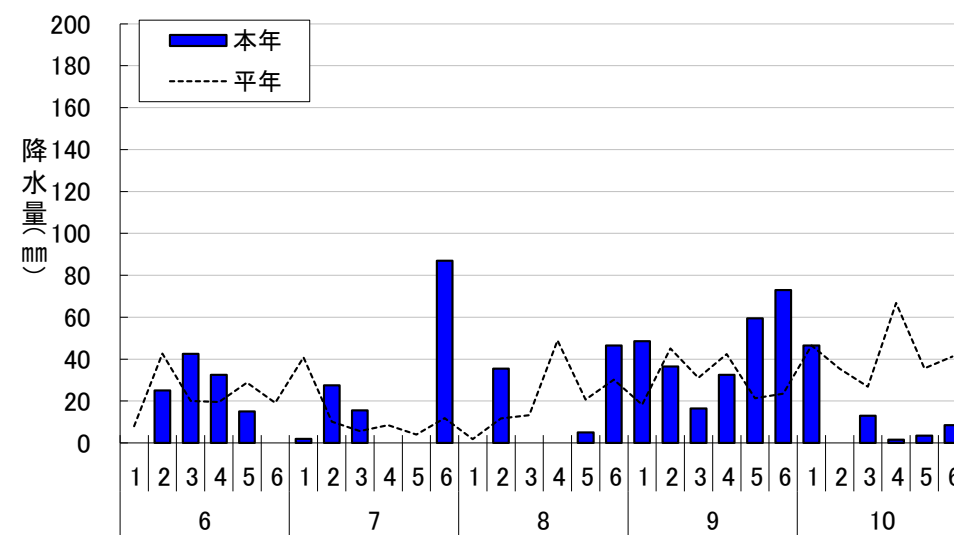


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

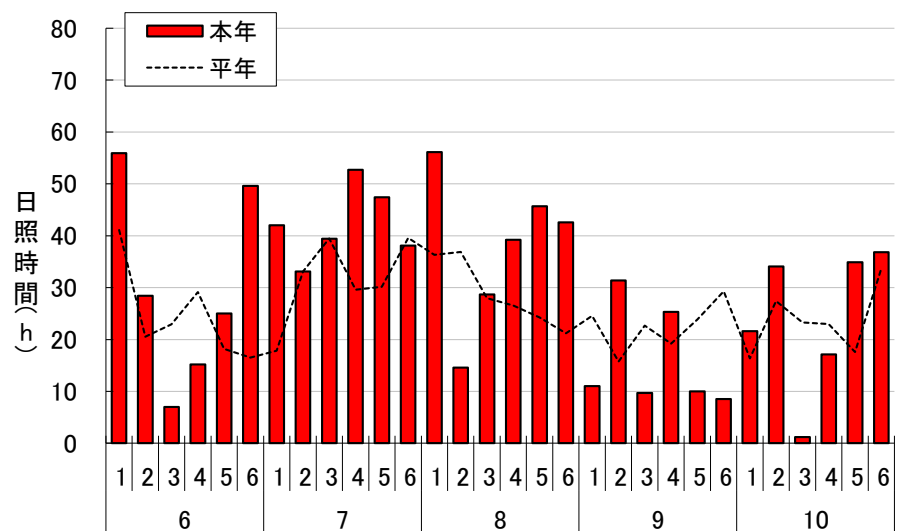


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表1 輪換畑における大豆の生育経過（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	調査月日 (播種後日数)	主茎長		主茎節数		分枝数		茎の太さ		地上部生体重		一株莢数		一株莢重	
		本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (節)	平年比 (%)	本年 (本/株)	平年比 (%)	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (g/株)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	平年比 (%)	本年 (g/株)	平年比 (%)
タチナガハ	7.25 (37)	39	103	12.4	117	2.2	116	9.0	125	92.4	140	-	-	-	-
	8.25 (68)	56	93	14.4	101	3.7	81	13.2	118	253.5	98	67.7	70	16	40
	9.25 (99)	58	95	14.7	103	4.0	86	12.5	113	304.1	100	59.7	85	80	71
里のほほえみ	7.25 (37)	44	116	12.8	132	2.0	222	11.8	139	93.6	167	-	-	-	-
	8.25 (68)	66	113	14.5	101	3.8	84	14.3	118	271.0	107	60.8	65	10	34
	9.25 (99)	67	110	14.9	102	4.3	105	14.6	118	349.0	127	80.2	105	96	99
納豆小粒	7.25 (37)	38	109	13.2	120	3.5	146	9.0	132	71.1	121	-	-	-	-
	8.25 (68)	84	100	17.2	97	6.3	85	12.5	116	287.3	100	113.5	71	3	43
	9.25 (99)	90	107	17.4	97	6.6	80	12.5	112	375.1	116	231.2	112	112	113

【耕種概要】

- 1) 圃場来歴：転換1年目（前作麦）
- 2) 播種：6月18日播種，11.1株/㎡（畦間60cm，株間15cm）1本立て
- 3) 基肥：N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O＝0.3-1.2-1.2kg/a
- 4) 中耕・培土：7月11日（1回目），7月18日（2回目）

【平年値】

- 1) 「タチナガハ」と「納豆小粒」は平成25年～平成29年産の5ヶ年の平均値
- 2) 「里のほほえみ」は平成27年～平成29年産の3ヶ年の平均値

【注釈】

- 1) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 2) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ

表2 輪換畑における大豆の生育、収量、品質（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	出芽期		開花期		成熟期		倒伏程度		青立程度		主茎長		主茎節数		分枝数	
	本年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年差 (日)	本年 (月日)	平年差 (日)	本年 (0-5)	平年差 (0-5)	本年 (0-5)	平年差 (0-5)	本年 (cm)	平年比 (%)	本年 (節)	平年比 (%)	本年 (本/株)	平年比 (%)
タチナガハ	6.25	1	7.30	-1	10.25	-2	2.0	0.9	5.0	1.6	63	103	14.6	101	2.7	56
里のほほえみ	6.25	0	7.30	-2	10.25	0	2.0	1.1	0.0	-0.8	69	115	15.3	106	3.0	71
納豆小粒	6.24	1	8.06	-1	10.26	-1	4.0	0.2	0.0	-1.5	78	97	17.5	100	5.4	57

品 種	茎の太さ		全重		稔実莢数		不稔莢数		子実重		百粒重		外観品質	
	本年 (mm)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	平年比 (%)	本年 (g/100粒)	平年比 (%)	本年 (1-7)	平年
タチナガハ	11.1	111	50.0	79	37.9	76	9.0	74	18.4	65	34.6	92	5.0	5.6
里のほほえみ	13.7	126	57.4	94	51.7	114	9.1	53	19.9	89	33.1	84	5.0	5.7
納豆小粒	11.5	117	62.7	90	167.3	108	32.4	146	23.8	87	9.6	87	5.5	5.6

【注釈】

- 1) 耕種概要と平年値は表1に準ずる
- 2) 茎の太さは、子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
- 3) 全重は、子葉節で切断した地上部の風乾後の重さ
- 4) 倒伏程度は、主茎傾斜角度により判定し、0（5°以下）、1（6～15°）、2（16～25°）、3（26～45°）、4（46～65°）、5（66°以上）とした
- 5) 青立程度は、0（無）、1（微）、2（少）、3（中）、4（多）、5（甚）とした
- 6) 子実重、百粒重は水分15%換算。子実重は「タチナガハ」、「里のほほえみ」が7.3mm篩上、「納豆小粒」は4.9mm篩上かつ目視で選別した後の重さ
- 7) 外観品質は1（上の上）、2（上の中）、3（上の下）、4（中の上）、5（中の中）、6（中の下）、7（下）とした



写真 所内大豆の成熟期頃の生育状況（平成 30 年 10 月 24 日撮影）